

原価計算 シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
原価計算	2	3	全	必修	情報処理科

1 概要および目標

- (1) 原価計算の基本的考え方と計算法及び工業簿記の記帳法を習得させ、原価についての理解を深める。
- (2) 原価を中心とする会計情報を活用する能力と態度を育てる。

2 成績評価

定期考査、単元テスト、検定試験、提出物などを総合的に評価する。

定期考査	70%	授業態度	15%	提出物など	15%
------	-----	------	-----	-------	-----

3 使用教科書・教材

- ・教科書：原価計算（実教出版）
- ・副教材：反復式学習と検定 原価計算問題集（実教出版）

4 学習方法

教科書を中心に、原価計算の仕組みについて学習していく。また、問題集を併用することにより、製造業における取引を記帳する能力や技術を身につけていく。用語が難しく、記帳方法が今まで学習してきた商業簿記と異なるため、生徒にとって身近なモノを例題にとり興味関心を持たせる。また、検定試験では簿記実務検定1級の取得を目指し、過去の問題などを繰り返し解いていくことで知識と技術の定着化を図る。

原価計算学習計画

月	単 元	学習内容・要点など	配当	実習 評価
4	第1編 原価計算の基礎 第1章 原価と原価計算	○工業簿記は製造業に適用されるものであることを理解させる。	3	
	第2章 原価計算のあらまし	○工業簿記と原価計算の関係を理解させる。 ○原価要素の集計のしかたと原価計算表の役割を理解させる。 ○原価計算の四つの目的について理解させる。 ○原価計算期間について理解させる。	2	
5	第3章 工業簿記 ～製造業における簿記～	○工業簿記における勘定の記入の特徴を理解させる。 ○工業簿記の一連の記帳手続きを学習させることにより、全体的な構造を理解させる。 ○工業簿記の帳簿組織を理解させる。	7	
6	第2編 原価の費目別計算 第4章 材料費の計算と記帳	○材料費の意味と内容を理解させる。 ○材料の仕入手続きと材料仕入帳の記帳方法、元帳への転記の関係、棚卸減耗の処理方法を理解させる。 ○材料の払出手続きと材料仕訳帳の記帳方法、原価元帳、製造間接費内訳表への記入方法について理解させる。 ○材料の消費数量と材料消費単価の計算方法について理解させる。 ○予定価格により、消費高を計算することの意味、予定価格を用いた二通りの記帳法を理解させる。	7	
7	第5章 労務費の計算と記帳	○労務費の分類と内容を理解させる。 ○賃金支払高の計算方法と賃金支払帳の記帳方法を理解させる。 ○賃金消費高の計算方法と賃金仕訳帳の記帳方法を理解させる。 ○予定賃率による消費賃金の計算方法と記帳方法を理解させる。	5	
9	第6章 経費の計算と記帳	○経費の意味と分類を理解させる。 ○経費の計算方法と経費仕訳帳の記帳方法を理解させる。	2	

月	単元	学習内容・要点など	配当	実習評価
10	第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ○単純個別原価計算のしくみ。 ○原価計算表の記入方法，原価元帳と製造勘定の関係を理解させる。 ○製造間接費の配賦についての概要を説明し，直接作業時間法の配賦，機械運転時間法の配賦を理解させる。 ○実際配賦率による配賦の欠点を説明し，予定配賦率による配賦 ○仕損品・作業くずの処理 	4	
	第8章 部門別個別原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ○部門別個別原価計算の必要性和各部門の役割全体の流れを理解させる。部門費配分表，部門費振替表，それぞれにもとづく仕訳を，マスターさせる。 ○生産形態の違いから，原価計算の方法も異なることを理解させる。 	3	
	第9章 総合原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ○個別原価計算と総合原価計算の違い ○月末仕掛品完成品換算数量・加工費・仕上がり程度などの用語の意味を理解させる。 ○平均法と先入先出法による月末仕掛品原価の評価をマスターさせる。 ○等級別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と等級別総合原価計算のしくみを理解させ，等級別総合原価計算表の作成に習熟させる。 ○組別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と組別総合原価計算のしくみを理解させ表の作成に習熟させる。 	5	
11	第10章 工程別総合原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ○工程別総合原価計算の意味と目的，手続きについて理解させる。 ○工程別総合原価計算表の作成を通して，工程別総合原価計算のしくみ，手続きと記帳方法を理解させる。 ○半製品の意味と半製品がある場合の記帳方法について理解させる。 ○副産物・作業くず・仕損品の意味と，それぞれが発生した場合の記帳方法について理解させる。 	3	

月	単元	学習内容・要点など	配当	実習評価
12	第4編 製品の完成・販売と決算 第11章 製品の完成と販売	<ul style="list-style-type: none"> ○製品の完成と販売に伴う手続きと記帳法を理解させる。 ○販売費および一般管理費の記帳方法を理解させる。 ○月次決算の意味と年次決算との関連について理解させる。 ○財務諸表の特色を理解させ、製造原価報告書の作成に習熟させる。 	6	
	第12章 決算と本社・工場間の取引	<ul style="list-style-type: none"> ○工場会計の独立と、その場合の記帳方法について理解させる。 ○経営管理に役立つ原価計算の必要性を理解させ、標準原価計算が原価管理に役立つ理由を知らせる。 	6	
	1	第5編 原価情報の活用 第13章 標準原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ○完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解させる。 ○原価差異の計算とその分析方法を理解させる。 	
2	第14章 直接原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ○直接原価計算の意義と特色、記帳方法を理解させ、損益計算書の組み立て方を理解させる。 ○損益分岐図表により、売上高・原価・利益の関係を理解させる。 	6	
3	記帳練習例題 第1例題 記帳練習例題 第2例題 記帳練習例題 第3例題	<ul style="list-style-type: none"> ○正しく、きれいに記帳する習慣を身につけさせ、工業簿記全体の構造をしっかりと把握させる。 ○特殊仕訳帳の記帳、材料元帳などの補助元帳の記帳、予定賃率による賃金勘定への記入、製造間接費の予定配賦など、個別原価計算のしくみについて、しっかりと把握させる。 ○総合原価計算のしくみと仕訳・記帳についてしっかりと理解させる。 	6	